

# 3

## 女性の人権

### 男女共同参画社会の実現に向けて

#### 1 対象

教職員、保護者

#### 2 ねらい

固定的な性別役割分担意識や性別による「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）」について、自身の言動とその影響を考えることで、自身の意識改革につなげ、男女共同参画社会の実現に寄与する。

#### 3 準備するもの

- ワークシート
- 資料

#### 4 解説

固定的な性別役割分担意識や性別による「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）」は、家庭、職場、地域など様々な場面で、男女共同参画社会の実現を阻む根強い課題です。女性にとって個性と力の発揮を妨げる障壁となるばかりでなく、男性にとっても「男は強くあらねばならない」などのプレッシャーとなり、男性を困難な状況に追い込んでいく側面があります。

これらの解消を図り、自分らしい生き方ができる、多様性に富んだ男女共同参画社会の実現をめざすことが求められています。

民間団体の調査によると中学生・高校生の約半数が、学問分野を限定しない質問で「性別によって得意・不得意に差が出る」と感じており、さらに、性別によって差が出ると考えている生徒の中には、「男子は理系科目や力仕事で得意で、女子は文系科目や細かい作業が得意だと思う」といった“イメージがあるから”との回答も一定数ありました。このワークをとおして、アンコンシャス・バイアスによる大人の発言などにより、子どもの考え方などに影響を与えていることに気づき、その解消に向けた意識改革につなげます。

#### 5 進め方（展開例） 55分

（ここでは、アンコンシャス・バイアスは「性別による無意識の思い込み」をさします。）

時間	本時の流れ（活動・内容）	留意事項	資料など
導入 10分	<p>◆本時の確認（2分）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の流れや留意点の説明を聞く。</li> </ul> <p>◆アクティビティ1（8分）</p> <p><b>「女子は理数系の科目が苦手？」</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①個人で理由を考え、ワークシートの1に書く。</li> <li>②グループで共有する。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の流れを説明する。</li> <li>・P4〔学習の約束〕を伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> </ul>
<p>・女子が理数系の科目に対して「得意」と答える割合が低い理由の1つに、アンコンシャス・バイアスがあるのではないかと気づく。</p>			

展開 40分	<p>◆アクティビティ2 (20分) 「『アンコンシャス・バイアス』を理解しよう！」</p> <p>①ワークシートの2「アンコンシャス・バイアス」チェックを個人で行う。</p> <p>②資料を確認し、グループで意見交換を行う。</p> <p>③①～②を行って感じたこと、思ったことをワークシートに書く。</p>	<p>・資料を配付する。</p> <p>・4人程度のグループで行う。</p>	<p>・ワークシート</p> <p>・資料</p>
	<p>・固定的な性別役割分担意識やアンコンシャス・バイアスについて理解し、自身の発言などを振り返る。</p>		
展開 40分	<p>◆アクティビティ3 (20分) 「探そう!『アンコンシャス・バイアス』」</p> <p>①身の回りにある「アンコンシャス・バイアス」による発言などを個人で考え、ワークシートの3に書く。</p> <p>②グループで共有する。</p> <p>③グループで挙げた発言などにより、子どもたちにどのような影響を与える可能性があるか考える。</p> <p>④グループで出た意見を全体で共有する。</p>	<p>・4人程度のグループで行う。</p> <p>・挙げた発言に対し、グループの中でその感想を述べてもよい。</p> <p>・時間に応じて発表グループ数を決める。</p>	<p>・ワークシート</p>
	<p>・固定的な性別役割分担意識やアンコンシャス・バイアスによる発言などが、子どもたちの思考に影響を与えることに気づく。</p>		
まとめ 5分	<p>◆まとめ (5分)</p> <p>・気づいたこと、これから子どもたちへの接し方で気をつけることなどをワークシートの振り返りに書く。</p>		<p>・ワークシート</p>
<p>・身近に固定的な性別役割分担意識やアンコンシャス・バイアスが存在することに気づき、男女共同参画社会の実現に向けて、意識改革も必要であることを理解し、実践しようとする意欲につなげたい。</p>			

<参考資料など>

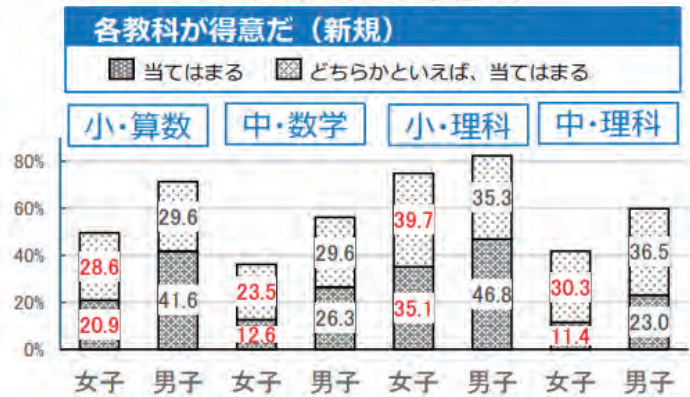
- ・かなテラス作成研修用教材 アンコンシャス・バイアス～男女共同参画の視点から～  
「アンコンシャス・バイアス」チェックリスト<例>及び「アンコンシャス・バイアス」チェックリストの解説 (作成:清家 三佳子 氏)  
[https://www.pref.kanagawa.jp/docs/x2t/hakkoubutsu\\_02.html#アンコンシャス・バイアス](https://www.pref.kanagawa.jp/docs/x2t/hakkoubutsu_02.html#アンコンシャス・バイアス)
- ・中学生・高校生のジェンダーに関する意識調査2024「中学生・高校生を取り巻く環境が与える影響とは」 公益社団法人ガールスカウト日本連盟

# 男女共同参画社会の実現に向けて

※このワークシートでは、アンコンシャス・バイアスは「性別による無意識の思い込み」ととらえてください。

1 「令和7年度全国学力・学習状況調査の結果」で、次のような結果がありました。その理由を考えましょう。

◆ **算数・数学、理科の平均正答率・スコアの大きな男女差は見られない一方、「得意」と考える割合は、女子の方が男子より低い。**



<理由>

出典：令和7年度全国学力・学習状況調査の結果（概要）のポイント（令和7年7月）（文部科学省・国立教育政策研究所）  
[https://www.nier.go.jp/25chousakekkahoukoku/report/data/25summary\\_point.pdf](https://www.nier.go.jp/25chousakekkahoukoku/report/data/25summary_point.pdf)

2 次の「アンコンシャス・バイアス」チェックをしてみましょう。当てはまると思う設問にチェック「✓」を入れてください。

- ①  女性はリーダーや管理職になりたがらない
- ②  男性には決断力・リーダーシップがある
- ③  育児中の女性は仕事の負担を軽くした方がよい
- ④  育休を取る男性は仕事への意識が低い

資料の確認や意見交換をして、感じたこと、思ったことを書きましょう。

3 身の回りにある「アンコンシャス・バイアス」による発言などを挙げてみましょう。

振り返り

気づいたこと、これから子どもたちへの接し方で気をつけることなどを書きましょう。

## アンコンシャス・バイアスチェック解説

## ①女性はリーダーや管理職になりたがらない

女性に「リーダーや管理職を目指してみないか？」などと話すと、「私には無理です」などと返答されることがあります。このような返事の真意は、リーダーや管理職になりたがらない、上昇志向がないとは限りません。リーダーや管理職としての責務を果たす自信がない、不安があるという場合もあります。リーダーや管理職としてのポテンシャルがある女性にはその機会を与えることが大切です。女性はリーダーや管理職になりたがらない、上昇志向がないと決めつけることなく、ポテンシャルがある女性には、「私には無理です」という返答であっても、無理と思う理由を確認し、不安を払しょくするアドバイスを行い、キャリアアップへの背中を押す言葉がけをすると、キャリアアップへの覚悟が固まる場合があります。

## ②男性には決断力・リーダーシップがある

男性には決断力・リーダーシップがあり、女性は繊細で気配りができるなどのイメージがあるかもしれませんが、本当にそうでしょうか？女性でも決断力やリーダーシップがすぐれている人もいますし、男性でも繊細で気配りができる人がいます。性別の問題ではなく個人の問題です。男性には決断力・リーダーシップがあるから管理職や経営者に向いているなどというバイアスがあると、決断力・リーダーシップのある女性の活躍の場が狭まってしまいます。

## ③育児中の女性は仕事の負担を軽くした方がよい

これらは、女性は仕事より子育てを重視すべきという固定観念と言えます。子育ては夫婦で協力しながらしていけばよいものですし、仕事も子育ても両方を大事にすることもできます。親と同居して子育てを親に手伝ってもらっているという方もいれば、一人で子育てをしなければならない方もいます。子育てをしているから仕事の負担を軽くすると、キャリアアップしたいという女性のモチベーションダウンにつながります。また、会社のためにも個人のためにも、会社にいる間はその人の能力を最大限発揮できる仕事をやってもらうことが大切です。

## ④育休を取る男性は仕事への意識が低い

性別にかかわらず仕事も家庭も充実させたいという方が増えており、男性でも育休を取り子育てにかかわりたいという方が多くなっています。最近の傾向として、男性・女性ともに、家庭より仕事、仕事より家庭という考え方ではなく、仕事も家庭も充実させることを重視する考え方が主流になってきています。共働き世帯が増えていることもあり、育児や介護は夫婦で協力して行うものとする方が多くなっています。男性だから仕事を重視すべきという考え方では、仕事も家庭も充実させたい人のモチベーションは下がってしまいます。

引用：「『アンコンシャス・バイアス』チェックリストの解説」（清家三佳子氏作）

## 参考

## ○子ども・若者に向けた県の取組み

## ・ライフキャリア教育支援事業

「ライフキャリア」とは、仕事をはじめ、家庭生活、地域社会とのかかわり、個人の活動（自己啓発・趣味）など、生活全般において生涯にわたり果たす役割や経験の積み重ねのことをいいます。

大学生・高校生・中学生を対象として、固定的な性別役割分担意識にとらわれず、自分らしい豊かな人生をデザインする力を持つことができるよう、出前講座の実施や、視聴覚教材の作成、「ロールモデル事例集」をはじめとした冊子及びリーフレットの配布による啓発など、ライフキャリア教育に取り組んでいます。

## ・中高生のための3大気づき講座

男女共同参画社会の実現のため、誰もが性別にかかわらず、自分らしい生き方を選択し、お互いを認め合う対等な人間関係を築く力を育成する若年層（中学生・高校生）向け意識啓発事業として、中学生、高校に身近なテーマ（メディア、人間関係、進路）を通して、考えるヒントや気づきが得られる出前講座（「男女共同参画・メディアリテラシー講座」、「デートDV防止啓発講座」、「理工系キャリア支援講座」）を実施します。

引用：「かながわ男女共同参画推進プラン（第5次）」神奈川県福祉子どもみらい局共生推進本部室